

みんなで応援！ 県北の家庭教育！



発行所

福島県教育庁県北教育事務所
福島市杉妻町2番16号
Tel 024-521-2814

「親子の学び応援講座」を開催します！

県北域内の各校PTAから寄せられたご希望をもとに、今年度は下記のとおり「親子の学び応援講座」を計画しております。

- (1) 川俣町立川俣小学校
日時 令和8年10月27日(火) 13:20~14:10 (受付13:00~)
場所 川俣町立川俣小学校 体育館
講師 医療創生大学心理学部 教授 中尾 剛 氏
講演 「情報モラルとメディアリテラシー」～正しいネットの使い方を身につけよう～
- (2) 伊達地区小中学校PTA連絡協議会
日時 令和8年11月7日(土) 13:30~15:45 (受付13:00~)
場所 伊達市ふるさと会館(MDDホール)
講師 シンガーソングライター MANAMI 氏
講演 「福島で歌い続ける意味」
- (3) 川俣町PTA連絡協議会
日時 令和8年11月12日(木) 14:20~15:30 (受付14:00~)
場所 川俣町中央公民館
講師 福島ユナイテッドFC 田中 雄大 選手
講話 「自分の可能性を信じ、道を切り拓く」～もっと福島を明るく元気に～

後日あらためて案内をお送りしますので、ご視聴を希望される講座がございましたら、そちらからお申し込みください。

支援チームの輪が広がりました

今年度、新たに2つの団体が家庭教育支援チームに認定されましたのでお知らせします。



チーム名：フリースクールブリリアント 活動拠点：福島市

URL：<https://brilliant-ka.com/>

活動内容：音楽・芸術・プログラミング・英会話・個別学習を軸に、子どもたちが「やりたい」を見つけ、安心して挑戦できる環境を整えた学び舎です。また、保護者向けや子ども向けのコーチングプログラムやワークショップ等も提供しています。



チーム名：meets 福島 futures 活動拠点：福島市

URL：<https://www.instagram.com/meetsfukushimafutures/>

子どもと保護者が安心して過ごせる居場所「MAYU」を拠点に、居場所づくりや学習支援、食支援、相談支援などを展開し、家庭教育支援および子どもの健全育成といった、「子どもが未来に羽ばたくための支援」を目的とした活動を行っています。

よりよい地域づくりに向けて

8月5日(水)、福島県自治会館大会議室を会場に地域連携担当教職員等研修会を開催しました。

はじめに、文部科学省総合政策局CSマイスターの安齋宏之氏より「コミュニティ・スクールが導く教職員の働き方改革」をテーマにご講演いただき、地域と学校の連携を促進する「学校運営協議会制度」(コミュニティ・スクール)の基本について学びました。

続いて、宮城県仙台市立荒町小学校で学校運営協議会長を務められている荒町商店街振興組合副理事の庄子康一氏より、「持続可能な学校づくり」をテーマに「学校運営協議会制度」導入までの道のりと実際の運用、導入前後の学校や地域の変化等についてお話を伺いました。



講演要旨

荒町は、自分の職場があるというだけで、生まれ育った街というわけではありませんが、「地域のために何かできないか」という思いをずっと持っていました。学校については、フェンスで囲まれていて、門はいつも閉ざされていて、「敷居が高い場所」だと感じていました。以前の(庄子氏のお店がある)荒町商店街は、子供たちにあいさつしても逃げられてしまうような街でした。そして、「先生方は、毎日、学校と家の往復で、外でランチをするようなこともできず、地域の美味しいお店とか、あまり地域のことを知らないのではないかな」と感じていました。

ある年から、ハロウィンの日に商店街で子供たちにお菓子を配りはじめました。次第に、「トイレを貸してください」「水を飲ませてください」と子供たちが立ち寄るようになりました。「もっとできることはないかな」と考え、登下校の際に子供たちを見守る「子まもりプロジェクト」を立ち上げました。すると、子供たちとの距離が縮まったこともあって、令和元年には、荒町小の校長先生から、3年生の地域学習への協力の相談がありました。そして、令和3年度からは、学校運営協議会が設置され、委員13名でコミュニティ・スクールがスタートしました。以来、毎年4月には、先生方と「カリキュラム研修会」を開催し、異動して間もない先生方にも地域のことを伝えています。また、いっしょに教育計画を確認し、「先生方の負担軽減のためにできることはないか」についても話し合っています。

「子まもりプロジェクト」を続ける中で、地域の企業や他の商店街にも見守りの協力を呼びかけたところ、現在、警備会社など50以上の団体がプロジェクトに賛同してくださっています。子供たちのために力を貸してくれる団体は多く、見守り活動だけでなく、プロジェクトのパンフレットをつくってくれる会社やロゴの入った袋をつくってくれる会社などもあります。それぞれの企業が強みを生かして協力してくださって、とてもありがたいです。(別紙「'26 仙台荒町 子まもりプロジェクト連携図」参照)

現在は、中学校に出向いて、全校集会等で中学生に見守りを依頼しています。「守られる側」から「守る側」の視点も持ってもらうことで、みんなが安心して過ごせる持続可能な地域になればと考えています。中には、「大人になったら、僕がお菓子を配ります。」と言ってくれる子もいました。「卒業生が中学校で『荒町を誇りに思います』と語った」という話を聞いたときには本当にうれしかったです。

荒町がそうであるように、コミュニティ・スクール制度は、地域の人々をつなぎ、地域ぐるみで子育てをする環境をつくるための有効な手段になると思います。

演習では、CSマイスターの安齋宏之氏の指導のもとで熟議「『基本的には学校以外が担うべき業務』を引き受けてくれるのは？」を体験しました。「今、3分類の中でできていることは何か」と「これから地域として取り組むべきことは何か」の2点についてそれぞれの学校の状況を振り返り、8つのグループに分かれて話し合いました。

熟議の中で挙がった主な意見を紹介します。

できていること

- ・ 登下校の見守り
- ・ 地域学習協力者への連絡等
- ・ 地域学習等への協力
- ・ 金銭の徴収・管理
- ・ 校外補導
- ・ 部活動地域展開
- ・ 校内清掃
- ・ 環境整備（施設の修繕）
- ・ ICTのサポート
- ・ プールの見守り
- ・ 会計監査
- ・ 行事の準備・片付け
- ・ 学校ウェブサイトの作成・管理
- ・ 学校の広報資料の作成
- ・ 職場体験の事業所選定
- ・ 給食の時間における対応
- ・ プールの清掃・管理
- ・ 夏休み中の学習会
- ・ アンケート等の回収
- ・ 支援が必要な子供への対応

これから取り組むべきこと

- ・ 学校施設の管理（修繕・開錠・施錠等）
- ・ 保護者対応（苦情対応）
- ・ 登下校の見守り
- ・ プールの清掃・管理
- ・ 休み時間の見守り
- ・ 校内清掃
- ・ 広報（ウェブサイト等）の作成
- ・ 金銭の徴収・管理（教材の発注等）
- ・ 校舎内外の見回り
- ・ 学校運営協議会の運営
- ・ 給食の時間の対応
- ・ 校外団体の事務局
- ・ スクールバスの運営管理
- ・ 調査・統計への回答
- ・ 地域学習（職場体験）への協力
- ・ 部活動指導
- ・ （校外での）メディアトラブルへの対応
- ・ ICTのサポート
- ・ 学校行事の準備・運営



この一覧にあるとおり、熟議によって、「同じ県北域内であっても、地域に担っていただいている業務の量と質に、学校間での差がある」ことがわかりました。今年度は、家庭教育応援企業のみならずも含めて様々な立場の方に集まっていたことで協議が深まり、解決の道筋が見えてきた学校課題もありました。持続可能な学校づくりや地域づくりを推進するためにも、引き続き学校教育へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

また、県北教育事務所では、今後も家庭教育や学校教育の充実を目指し、ホームページや企業通信等で家庭教育応援企業様の取組を広く紹介し、効果的な実践等の共有に努めてまいります。

フレックス勤務や時短勤務等の「環境整備」、企業内学習会や親子体験活動等の「イベント」、職場体験の受け入れや出前授業等の「学校支援」、地域行事への協力や清掃作業等の「地域支援」など、取り組まれていることを、ぜひ別添「活動報告書」等で教えてください。

県北の家庭教育応援企業 現在196社（令和8年9月）

- 企業名については県北教育事務所のホームページに掲載しております。下記URL
または右の二次元コードからご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/733175.pdf>

- ※ 企業名が新しくなった場合や連絡先が変わった場合には、お手数ですがご一報ください。



家庭教育支援者地区別研修会を開催します！

11月11日(水)に福島県庁西庁舎12階講堂で、家庭教育支援者地区別研修会を開催します。今年度は、仙台大学子ども運動教育学科の柴田千賀子教授をお迎えして、「子どもの安心につながるコミュニケーションとは？」をテーマにご講演いただきます。柴田先生による日本と北欧の保育実践や学習環境に焦点を当てた幼児教育についての研究は、OMPM(世界幼児教育・保育機構)世界大会で2026 Awardを受賞するなど、国際的な注目を集めています。

研修会では、「子どもたちが発する様々なサインをどうキャッチするか」「子どものウェルビーイング(心も体も満たされた状態)につながる関わり方」など、子どもとの望ましいコミュニケーションについて考えていきたいと思います。家庭教育支援や学校教育に関わる方だけでなく、子育て中の保護者のみなさまにもご参加いただけますので、後日お送りする案内をご覧ください、ご希望の方はぜひお申し込みください。

また、研修会の中で、家庭教育支援チームの代表者の方から活動内容をご紹介いただく予定です。それぞれのチームが、悩んだり困ったりしている家庭に寄り添い、必要な支援を届けてくださっています。お時間に余裕があれば、当日、家庭教育応援企業のみなさまにも足を運んでいただき、家庭教育支援の最前線のお話に耳を傾けていただければと思います。

ビブリオバトル県北地区予選会 観戦者募集！

中学生・高校生の読書習慣の形成を目的に、今年度も下記のとおりビブリオバトル(書評合戦)県北地区予選会を開催します。

県教育委員会では毎年読書に関する調査をしていますが、県内の子供の読書量はコロナ禍に増加に転じたものの、総じて減少傾向が続いています。令和7年度の不読率(1ヶ月間まったく本を読まない)の割合は、小学生が1.7%、中学生が13.3%、高校生が48.1%となり、スクリーンタイム(スマホ等の利用時間)が増加する一方で、読書離れが進んでいることがわかっています。

ビブリオバトルは、本に魅力を感じ、大好きな一冊の素晴らしさを伝えたいという中高生が集まり、制限時間内のプレゼンテーションでいかに相手に「読みたい」と思わせるかを競い合う大会であり、当日の進行も、ボランティアの高校生が務める爽快なイベントです。どなたでも観戦できますので、別紙によらず当日のお申し込みも可能ですので、ぜひ熱戦をご覧ください。

日 時：令和8年9月12日(土) 13:00~15:40
会 場：福島大学L-3教室



家庭教育に関するお問い合わせ先

福島県教育庁県北教育事務所 総務社会教育課 担当：三瓶

福島市杉妻町2番16号 福島県庁北庁舎1階

TEL：(024)521-2814 FAX：(024)521-2870

E-mail：sanbe_masaru_01@pref.fukushima.lg.jp